## しおがまの

## 活気・元気

「書」は、書いた人の持ち味が出る 多様な世界

書家・美術家

塩竈市在住、第二中学校出身。中総体県大会で卓球団体・個人優勝。 塩竈・仙台・福島・韓国などで30回以上の個展を行い、公民館本町 分室で「書のゆとり座」講師、企業・飲食店のロゴなども手掛ける。 母校の二中や市役所に作品を寄贈。塩竈市美術展招待出品。 12月5日~10日、SARP仙台アーティストランプレイス (仙台市青 葉区)にて「斉藤文春展―たとえば、ここに」を開催。







①「美術館ROCK」でパフォーマンスする斉藤文春さん ②新作『ゆめ(明恵上人の歌)』③斉藤さんの作品『ゆめ』を 背景に「美術館ROCK」で熱演するザ・バグダッドハネムーン

ずです」と書に対する思いを話してくれました。 が下手、 気持ちを込めて書くことで、 まり、音の始まりを融合させたパフォーマンスを 人れるきっかけになってほしいです。 自分の字を 分が培ってきた中で今何ができるか?』と問い 美術館ROCK」では、 出るその人らしさの基本です。 ックをテーマにさまざまな表現者が集まったこ わうことができれば、相手の字の良さにも気付 いました。斉藤さんは「白い紙に向かい、 イベントで、初めて「音」をテーマに、書の始 書や書き文字は、 て挑んでいます」と話します 度きりに込めた真剣勝負。 苦手と思う体験をした人も自分の名前を 人間関係も楽しく豊かになるは 声と同様、 新たなテーマに挑戦。 自分を見つめ、 いつも 子どもの頃に字 書く人の持ち

卒業後も公務員として働きながら書き続けました。 が感じられる言葉です。 あるべき姿と生き方の象徴で優しさやあたたかさ さんは、 どんなことを思い浮かべますか。 世界と気付き、ライフワークにすることを決め、 目標を持つことで生きる意味に繋がり、 !観やセンスでいろいろな表現ができる魅力的 9月に塩竈市杉村惇美術館大講堂で行わ が詰まった言葉です」と教えてくれました。 います。 斉藤さんは大学の書道部で、書は、その人の ·花」と「夢」。皆さんは、この二つの この言葉を大切にし、 斉藤さんは「『花(はな)』 『夢(ゆめ)』 30年以上書き続け は、 は、 思いや 希望や





「広報しおがま」は、24,030部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は64円です。



自治体広告ならではの

エリアを絞った 情報発信

地域での 知名度向上

自治体発行の 信頼度の高い 広報媒体

株式会社ジチタイアド 醤ಀ 🍒 092-716-1401 🖁 福岡県福岡市中央区薬院1-14-5MG薬院ビル7F 財源確保

塩竈市は、自主財源を確保するため「広報しおがま」に有料広告を掲載しています。